

本物のピアノでの練習をオススメします

そもそも…本物のピアノって何??



本物のピアノとは、 グランドピアノとアップライトピアノです

本物のピアノとは、左の写真のようなグランドピアノ(左)とアップライトピアノ(右)のことを言います。デジタルピアノやキーボードのように電気で音を出すのとは違い、中にたくさんの弦が張ってあり、その弦をハンマーで叩いて音を出す仕組みになっているほか、様々な違いがあります。

どうして本物のピアノの方がいいの??

レッスンでは「表現力」も大切なポイントだからです

ピアノレッスンでの上達は「楽譜通りに正確に弾けるようになる事」と多くの方が思い違いをしがちです。確かに導入期には楽譜を理解し正確に弾けるようになる事が必要ですが、修得したテクニックを駆使して「感情表現する事」がレッスンの大切なポイントなのです。キーボードやデジタルピアノはピアノと同じ鍵盤の配列で、一見レッスンの代用になりそうですが、「美しい音。感情移入に合った音を出す」というテクニックを修得するには不向きです。

書道に例えれば、ボールペンがキーボード、筆ペンがデジタルピアノと考えれば理解しやすいと思います。字を覚える段階ならボールペンや筆ペンでも練習できますが、筆文字の微妙な「かすれ」や「押さえ」「はね」を駆使したダイナミックな感情移入表現のテクニックを修得することはできません。

ピアノも同様、キーボードやデジタルピアノでのレッスンより本物のピアノでレッスンの方がメリットが大きいと言えるでしょう。自然な発音のピアノと電氣的な発音のキーボードやデジタルピアノでは音の出る仕組みが違い、タッチも違います。



本物のピアノで練習することでレッスンも楽しくなります

家にピアノがなく、キーボードなどで練習すると簡単に弾けるのに、教室のレッスンでピアノを弾くとキーボードでは弾けたように上手に弾けない子供。そういう子供たちは、徐々に難しくなっていく曲に対し、大切な基礎が身につけていないためにギャップが大きくなり、次第に弾けなくなっていく自分から逃げてしまいたくなり、レッスンを辞めたくなくなってしまいます。

ピアノが弾けなくても生活していく上で何の不自由もありません。しかし、弾けないままレッスンをやめてしまえば「音楽があれば、人生がずっと楽しくなるはず」というご家族の皆さんの期待が消えてしまうこととなります。自分一人で楽しむだけの演奏力を身につけることが、レッスンをやめてもピアノを弾くことを生涯続けることに繋がります。レッスンを続ける努力を強いるのではなく、できるだけ早い時期に、音楽を楽しみ、演奏できる幸せを感じることで育てる子供に育てることが重要です。

コラム

指の運動は脳発達促進手段

人間の脳の発達、指を細かく動かすことによってもたらされます。これは、乳幼児の診断で、積み木を重ねることができかどうかで、知能の発達の程度を判定していることからよく分かります。従って、指を細かく動かせば、それだけ知能の発達が早いということになり、それに最適なのが「ピアノのおけいこ」ということとなります。日本では「ピアノのおけいこ」は教育の一環と捉えがちですが、欧米では教育というより、子供の脳の基本的な発達・促進という目的で行われています。「ピアノのおけいこ」は知能を発達させる為に必要な基礎訓練となっています。また、最近ではピアノに限らず指先を使う作業全般が、脳の老化を防ぎ、活性化を促進することが分かっています。高齢のピアニストや手先を使うことの多い人達が元気なのもこのことに起因しています。

